



令和 6 年 9 月 26 日

高校生 1,000 人プロジェクト in 岡山 参加者募集 ～eラーニング（マイクロステップ・スタディ）を無償提供～

◆発表のポイント

- ・本学をはじめとする全国の大学に進学を志望する高校生 1,000 人に対し、【eラーニング：マイクロステップ・スタディ（以下：MSS）】の英単語の意味を学習するサービスを、試験的に無償提供。
- ・本学では全学部の 1 年生を中心に 1 日平均約 5～10 分程度の MSS に任意で取り組んでおり、総合的英語能力試験（英検、GTEC 等）のスコアを上げることを支持する結果が出ている。
- ・高校生の英語力を向上させられることを理論的な助言も加え証明することを目的とする。

- ・岡山大学教育学研究科附属 実践データサイエンスセンターでは、本学をはじめとする全国の大学に進学を志望する高校生 1,000 人に対し、【eラーニング：マイクロステップ・スタディ（以下：MSS）】の英単語の意味を学習するサービスを、試験的に無償提供する取り組みを始めます。今回は主に岡山県及び近隣の高校生を対象に募集します。
- ・本学では 2019 年度より MSS を課外学習支援システムとして正式導入し、全学部の 1 年生を中心に 1 日約 5 分程度の MSS に任意で取り組んでおり、一部の授業では学習状況が成績に加味されています。その結果、1 日 5 分程度 MSS に取り組むことが、総合的英語能力試験（英検、GTEC 等）のスコアを上げることを支持する結果が、メジャーな学術論文等で報告され、2024 年 5 月 23 日に本学から [2 件のプレスリリース](#) を行っています。
- ・1 日 5 分程度の、見流すような MSS の学習が英検等の成績に効果を持つことを支持する科学的結果が得られている eラーニングは MSS のみです。その理由の一つは、現在多くの高校生が取り組んでいる英単語学習等の学習方法は、一夜漬けの学習（顕在記憶）には効果を持ちますが、言語能力や資格試験などの基盤となる潜在記憶にはとても非効率であるためです。本プロジェクトではそのような理論的な助言も加え、実質的に高校生の英語力を向上させられることを証明することが一つの目的です。
- ・本プロジェクトでは、潜在記憶研究と教育ビッグデータ研究で明らかになっている最新の知見を含め、言語習得や資格試験等の知識習得に効率的な学習法についての講義も提供します（オンライン予定）。



PRESS RELEASE

応募の詳細は別紙の通りです。ぜひ高校生へご周知いただき、希望される生徒さんがいらっしゃれば、ポスターやチラシを見て、個人で応募するようご案内ください。現在一般に広がっている学習法は潜在記憶に関する科学的研究からするとかなり誤っています。それを周知する意味もあり、意欲的な生徒さんからのご応募をお待ちしています。



寺澤教授

■補足

高校生 1,000 人プロジェクトへは、高校生が各自 WEB で申請をしていただきます。プレスリリースに前後して、岡山県と近隣の高校に募集のチラシとポスターを郵送しています。その担当の先生向けの案内文書と、配布チラシを資料として添付しています。マイクロステップ・スタディに関しては、次のホームページをご参照ください。

<https://hito.csv.okayama-u.ac.jp/>

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院教育学域（教育心理学）

岡山大学大学院教育学研究科附属実践データサイエンスセンター

教授 寺澤孝文

（電話番号）086-251-7433（担当：田邊／山際）

（HP）実践データサイエンスセンター 教育・心理支援サービス部門HP

<https://hito.csv.okayama-u.ac.jp/>



岡山大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。